ホーム＆ライフ
ソリューション

HITACHI
Inspire the Next

日立家庭用乾燥式生ごみ処理機

取扱説明書

ECO-B25形 家庭用

このたびは日立家庭用乾燥式生ごみ処理機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

目　次



安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- (⚠) この記号は注意（危険･警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。
- (⊘) この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
- (❗) この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

●この機器は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

⚠警告

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」および、この「取扱説明書」に従って行う。
（感電・火災・けがの原因）
●電気工事は、販売店または電気工事店に依頼してください。

本体据え付けの工事部材は、指定の部品を使用する。（火災・感電の原因）

アースを確実に取り付ける。
（故障や漏電の時の感電防止）
●アース工事は、販売店または電気工事店に依頼してください。
アース線接続

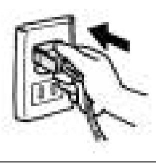
改造は絶対にしない。また、サービスマン以外の人は、分解したり修理しない。
（火災・感電・けがの原因）
修理は、お買い上げの販売店または日立のお客様ご相談窓口にご相談ください。
分解禁止

子供だけで使用させない。
（やけど・感電・けがの原因）

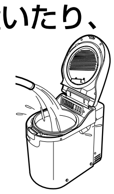


スプレー缶及び缶類・電池類・石油類・花火・アルコール・酒類・アルコール分を含む食品（酒かす、アルコール漬けの果実）など引火・爆発するものは入れない。
（火災・引火・けが・故障の恐れ）

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
（感電・火災の原因）



ふたをあけたままで雨の中に置いたり、本体内部の水洗いはしない。
（感電・ショートの原因）



直接雨ざらしになる場所や、雨水がたまり、水浸しになるような場所に据え付けない。
（感電や漏電による火災の恐れ）

本体に直接水をかけない。ふたや本体にひびが入ったり、破損した状態では使用しない。
（感電・ショートの原因）

ぬれた手で差込プラグの抜き差しはしない。
（感電・やけどの原因）
ぬれ手禁止

本体に乗ったり、物をのせない。
（転倒してけがをしたり、ベランダでは転落する原因）

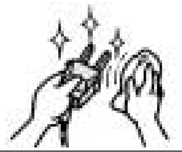


幼児に乾燥室の中をのぞかせない。また本体の近くに台を置かない。（やけど・けがの原因）

⚠警告

お手入れ・点検の際は、差込プラグを抜く。
（感電やけがの恐れ）
差込プラグを抜く

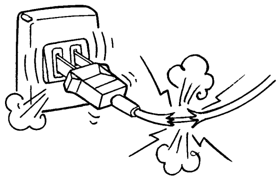
差込プラグの刃および刃の取り付け面のほこりをよくふく。
（火災の原因）



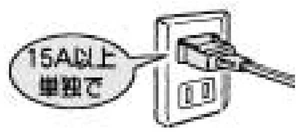
電源コード・差込プラグを傷つけない。
電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。
（コードが破損し、火災・感電の原因）



傷んだ電源コードや差込プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない。
（感電・ショート・発火の原因）



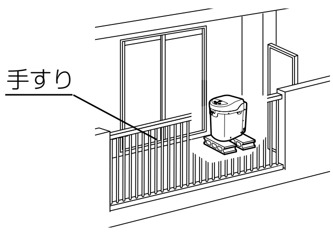
定格15A（アンペア）以上・交流100V（ボルト）のコンセントを単独で使用する。
（他の器具と併用すると、分岐コンセント部の異常発熱による発火・感電の原因）



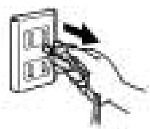
⚠注意

本体の据え付けは、壁から安全確認ができる距離を確保し、消防隊進入の障害にならない場所を選定する。
（事故の場合、避難できなかったり消火作業の障害になる恐れ）

マンションなどベランダに本体を据え付ける際は、手すり側に据え付けしない。
（お子様などが踏み台にして転落する原因）



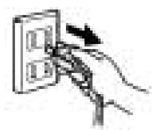
差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず差込プラグ部分を持って引き抜く。
（感電・ショート・発火の原因）



石油類やプロパンガス、スプレー缶などの引火しやすいものを本体に近づけない。
（火災の原因）

本体の上に物を置かない。
（過熱して変形の恐れ）

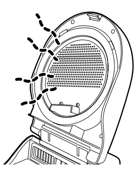
長期間使用しないときは、差込プラグをコンセントから抜く。
（感電・漏電の原因）
差込プラグを抜く



運転中、運転終了後しばらくは高温部分にふれない。
（高温によるやけどの原因）
接触禁止

本体が熱くなっているので、電源スイッチ以外は触れないでください。とくにハンドル、本体後部および本体内部（処理容器、内ふた等）は高温になりますのでやけどの原因になります。

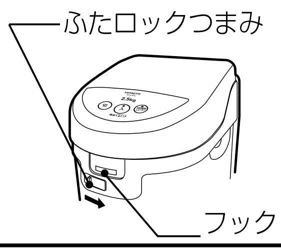
運転中はふたを開けない。
（やけどの恐れ）



※本体内部が高温状態のため、やけどの恐れがあります。

運転中は「ふたロックつまみ」を矢印方向にスライドさせる。

不用意に「フック」に触れた場合、ふたが開いて高温の湯気でやけどをすることがあります。



据え付け要領

●電気工事やアース（接地）工事はお買い上げの販売店または電気工事店に依頼してください。

本体を屋外(軒下)・ベランダに据え付ける際、準備していただきたい工事部材

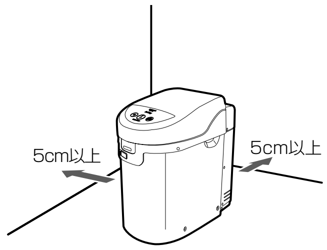
●コンクリートブロック(2枚)　●アース棒
●アース付き防雨形コンセント　●鎖または針金
ホームセンターなどでお買い求めください。

※ただし、据え付け条件によって不要なものもあります。

屋内の据え付けかた

1 本体据え付け場所の選定をする

●生ごみ処理中にいくらかにおいが出ますので勝手口近くや換気扇のあるところに据え付けてください。
●本体は、床面の強度のある場所に据え付けてください。
●じゅうたん等毛足の長いもの、熱に弱いものの上は避けてください。
●本体の周囲に灯油などの可燃物のある場所は避けてください。
●本体は、壁などから必ず5cm以上離してください。
●周囲は、必ず上面、前面および左右どちらかの側面は開放してください。



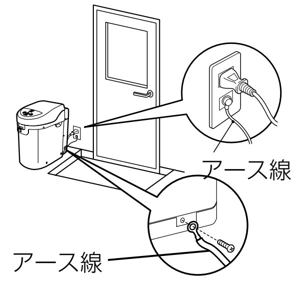
上面、前面および左右どちらかの側面は開放

箱の中に入れたり、周囲を囲んだりしますと、過熱による故障の原因になります。

2 本体を据え付ける

●本体を水平に据え付けてください。

■据え付け例：勝手口付近



3 アースを確実に取り付ける

●本体後面のアース端子に、付属のアース線を接続します。
●電源コンセントのアース端子にアース線の先端の皮をむき、アース端子付コンセントのアース端子に確実に固定します。

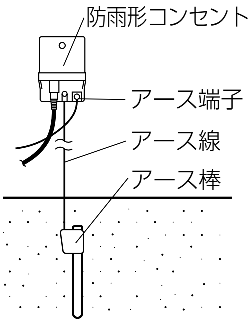
据え付け終了後の運転確認

1. 差込プラグをコンセントに差し込む
2. 電源スイッチ「入」を約１秒以上押す
3. 「運転ランプ」の点灯と、かくはん羽根の回転音を確認する
（運転ランプの点灯から約5秒経過すると約10秒間間欠回転します。）
4. 電源スイッチ「切」を押す

アース（接地）工事について

アース工事は、電気設備技術基準等に関する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事（接地抵抗100Ω(オーム)以下）を行ってください。
●漏電時に感電の恐れがあります。

〈適する場所〉
アース棒は常に湿気のある所など適切な場所を選定して埋設してください。
〈不適切な場所〉
1）地下埋設場所（例：ガス管、水道管、地下ケーブル、引込管など）
2）避雷針や電話のアースから2m以内
3）ガス、酸などで腐食の恐れがある場所
4）人通りの激しい場所



屋外(軒下)・ベランダの据え付けかた

1 本体据え付け場所の選定をする

- 軒下、出窓の下、勝手口の近くなど、雨ざらしにならないところを選んで据え付けてください。
- 直射日光の当たる場所はさけてください。
- 潮風の当たる場所(地域)では、潮風防止の小屋などを設けてください。
- 周囲は、必ず上面、前面および左右どちらかの側面は開放してください。
- ベランダに据え付ける場合、本体を手すり側に据え付けないでください。
  (お子様が踏み台などにして転落する原因になります。)
- 避難器具、避難ハッチや、消防隊進入の障害とならない場所に据え付けてください。
- 二方向避難路側のベランダには据え付けないでください。

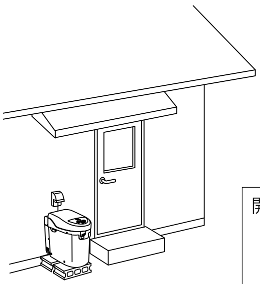
⚠ 警告

直接雨ざらしになる場所や、雨水がたまり、水浸しになるような場所に据え付けない。
(感電や漏電による火災の恐れ)

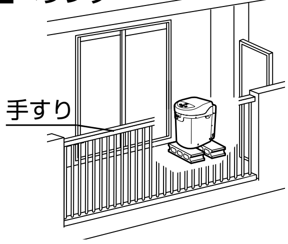


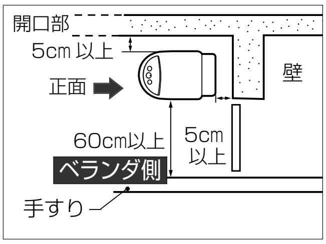
〈据え付け例〉

■勝手口付近



■ベランダ





箱の中に入れたり、周囲を囲むと、過熱による故障の原因になります。

2 電源コンセントの取り付けと配線工事 (電気工事士の有資格者が行ってください。)

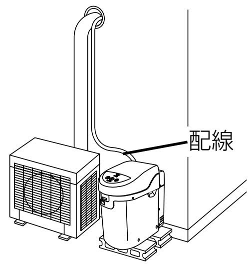
屋外に電源コンセントがない場合

1. アース付き防雨形コンセントを取り付ける
2. 配線する



壁面に電源コンセントが取り付けできない場合は

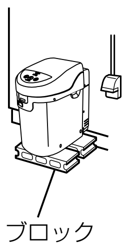
- エアコン室外機などの配管穴に電源コードを通して屋内に配線する(屋内のコンセントに直接差し込んでください。やむを得ず延長コードをご使用の場合は中間接続部に雨水などが入らないようにしてください)

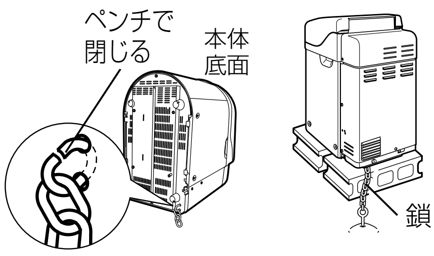


3 本体を据え付ける

- 本体を水平に据え付けてください。

1. 本体の据え付け場所にブロックを敷く
   (雨天時における雨水のはね返り防止のため)
2. 移動防止の「鎖」を取り付ける
   (1) 本体底面の穴に鎖、針金などを通して(または鎖の先端を引っ掛ける)セメントで埋設したり、丈夫な壁などに固定してください。
   (2) 鎖の引っ掛け部をペンチなどで閉じてください。

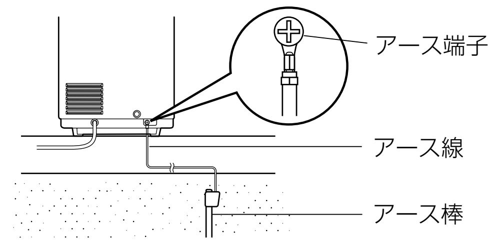




「鎖」を壁面へ取り付ける際は
- メタルラス張り・ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に電気的接触しないようにしてください。(「電気設備に関する技術基準182条」により義務づけられています。)

4 アースを確実に取り付ける

- 本体後面のアース端子にアース線を接続し、アース工事をしてください。



本体の据え付け終了後の運転確認(☞4ページ)を行ってください。



知っておいていただきたいこと

生ごみ投入時

処理できる生ごみとできないごみを必ず分別し、処理できる生ごみのみを投入してください。
（事故や故障の原因になります。）（☞8・9ページ）

肉、魚、揚げ物、でんぷん類や果物、柑橘類（みかん・オレンジ・グレープフルーツ等）の皮だけなど、単品の生ごみを処理する場合は、他の生ごみと一緒に処理してください。
（未処理状態になったり、処理中においがする場合があります。）（☞11ページ）

処理容器の生ごみ投入量目盛り線以上の詰め込みを避け、生ごみの水分を十分に切ってから投入してください。
（過度に詰めこみますと、処理状態が悪くなったり、内ふたなどが汚れたり、においの発生や故障の原因になります。☞ 11ページ）

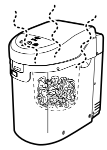
乾燥処理物が処理容器に半分位たまっているときは、新しく投入するごみの量によっては詰め込みすぎになることがあります。一度捨ててから生ごみを投入してください。（☞15・16ページ）

きな粉のような粉類やパン、クッキー、卵のから、かにやえびのから、ぬか床やみそなどの粘性物などを処理する場合は他の生ごみといっしょに処理してください。
(処理したごみの粉じんによる目づまり等、故障の原因になります。)（☞11ページ）

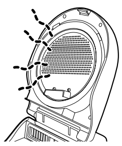
少量のごみを処理する場合は他の生ごみと一緒に処理してください。

生ごみ処理時・処理後

処理容器の中で生ごみが腐敗しないように早めに処理してください。
（腐敗が進んで悪臭がする場合があります。）



処理中や運転ランプ消灯直後は、ふたを開けないでください。
（においの発生や内部が高温のため、やけどをする恐れがあります。）



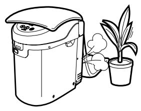
腐敗したごみは投入しないでください。
（においの発生や故障の原因になります。）

乾燥直後の処理物は、特有のにおいが残ります。
できるだけ冷やしてから、ふたを開けてください。

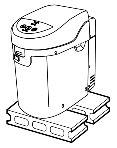
生ごみの処理中は、かくはん羽根が間欠回転するため間欠音がします。（故障ではありません。）

長く快適にお使いいただくために、本体内部にごみが付着したときは、お手入れをしてください。また、処理容器を洗う場合には、洗剤を使わないでください。こびりつきやすくなります。
（☞ 15・16ページ）

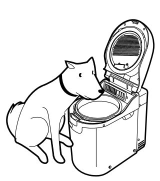
ご使用の前に常に確認してください



排気口が物でふさがれていませんか？
故障の原因になります。また植物は排気口の近くに置くと、熱で枯れることがありますので置かないでください。

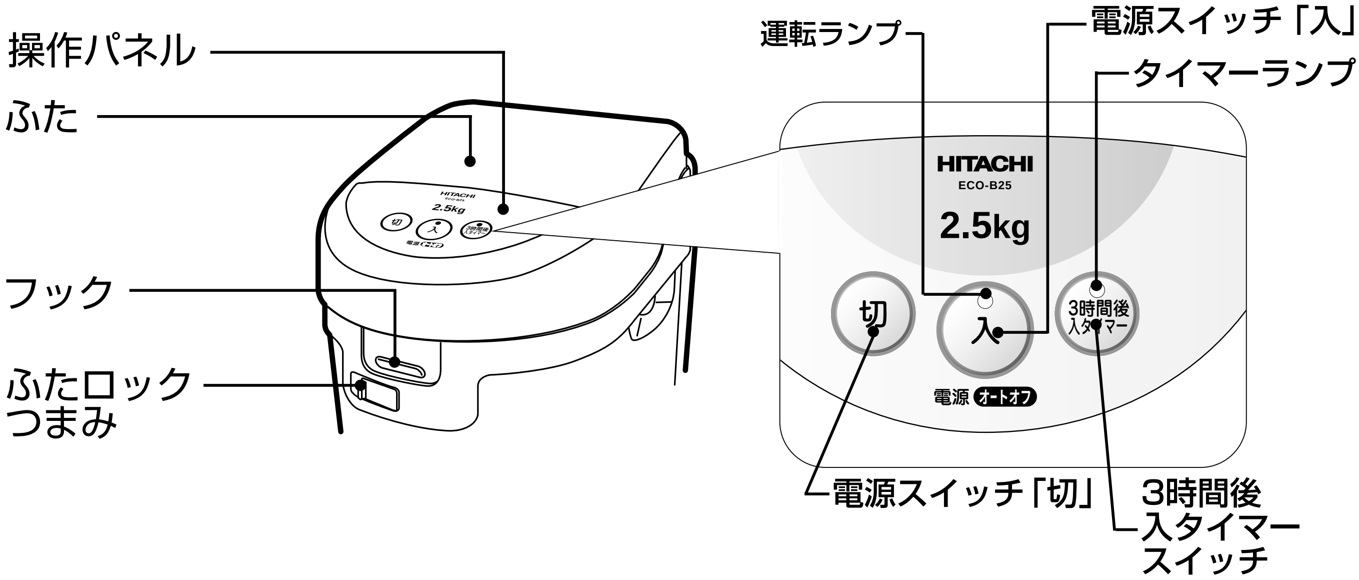


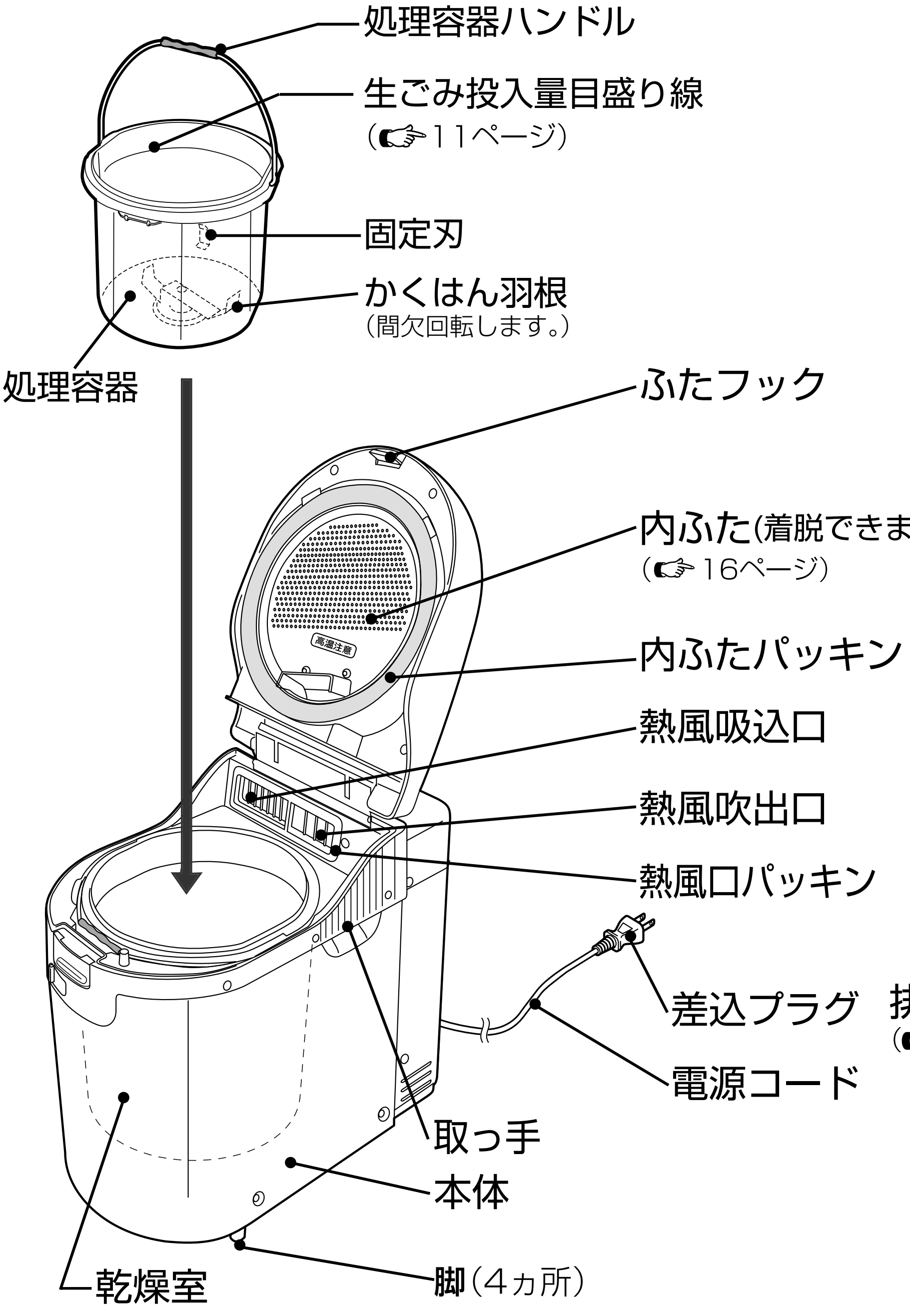
脚（4カ所）は水平に据え付けられていますか？
振動音がすることがあります。
ガタつきがある場合は、薄い板などをはさんでガタつきをなくしてください。

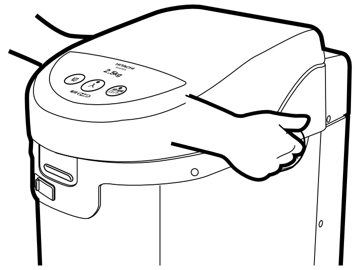


ふたは常時閉めてありますか？
ふたが開いたままになっていると、雨が本体内部にかかったり強い風でふたが急激に閉まるなど故障、感電やけがの恐れがあります。また小動物（犬、猫など）が入って事故になる恐れもあります。**必要時以外は、必ずふたを閉めてください。**

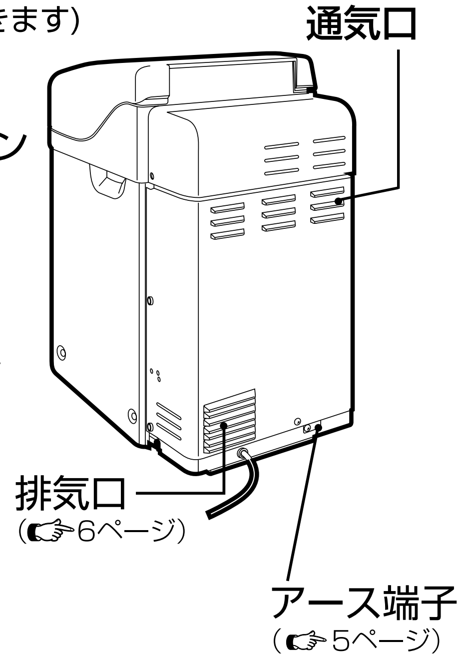
各部のなまえ







※移動時には、本体側面の取っ手に手を入れ、持ち運んでください。(本体が冷めているときに移動してください。）



■アース線



投入できる生ごみ・投入できないもの

生ごみを区別します

家庭から出る生ごみならほとんどのものが処理できますが、調理時に出た下記の投入できないごみなどが混入しますと故障や事故の原因となります。ふだんから気をつけて区別しておいてください。

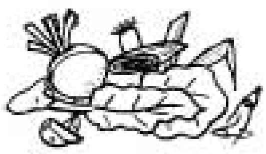
●処理できるものは家庭で発生する生ごみだけです。

投入できる生ごみ

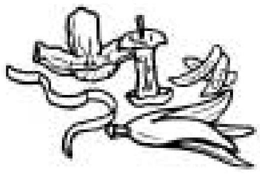
一般的に人が食べられる食材・調理物



ご飯・めん類



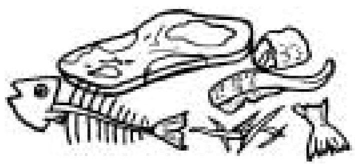
野菜くず



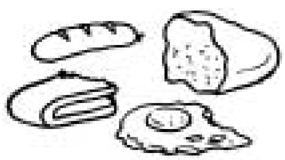
果物くず



茶がら



肉類・魚類



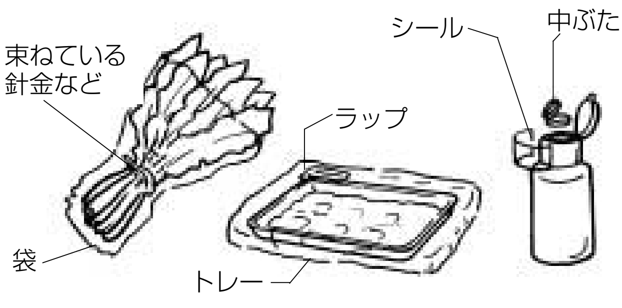
その他の残りもの

投入できないもの

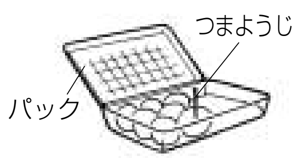
※次のものは、生ごみにまぎれ込みがちです。投入しないでください。

生ごみとともに捨ててしまいがちなもの(故障の原因になります)

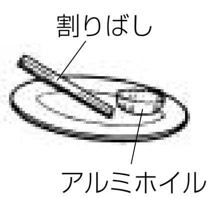
調理時

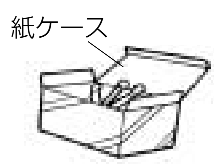


食事後









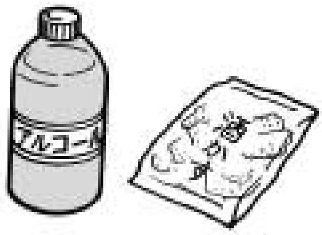
投入できないもの

爆発・引火の恐れがあるもの

※絶対に投入しないでください。



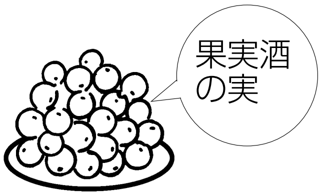
石油類



アルコールおよびアルコール分を含む食品（酒かすなど）



酒類（果実酒・薬用酒など）





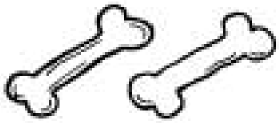
アルコール（焼酎・ホワイトリカーなど）漬けをした果実（うめ、ざくろなど）・薬草などの薬材料
キムチなどの発酵系の食品



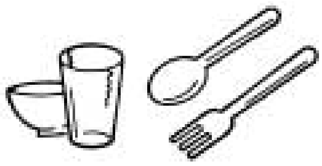
その他［●缶類（スプレー缶など）●花火　●電池類］

⚠警告	火災・引火の恐れあり （酒類・アルコールを含む食品など引火・爆発するものは入れない）

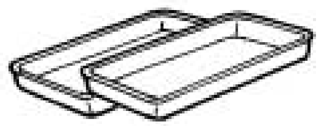
故障の原因になるもの



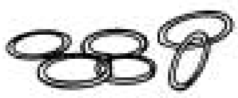
牛・豚・鶏などの骨



ガラス･陶磁器･金属類



スチロールトレー



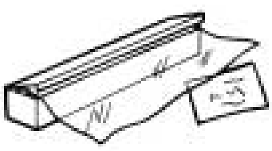
輪ゴム



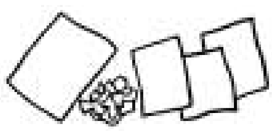
動物のふん、硬い貝殻や多量のアサリ・しじみなど



木竹製品



ポリ袋・ラップなどのシート類



紙類



木くず･小枝･草･葉など

生ごみの入れかた

① 生ごみの下処理をする

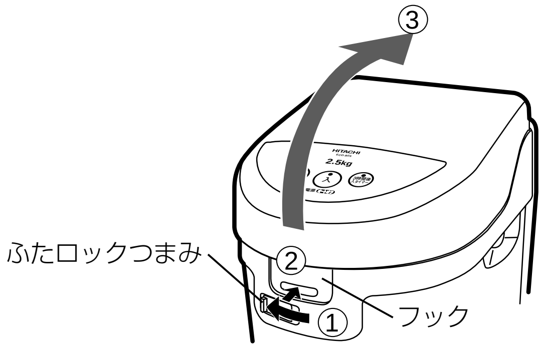
●処理時間の短縮や良好な処理をするための準備をします。

※水分は十分に切ります。

※ネギなどの細長い繊維質の多い野菜は5cm以下にカットします。（かくはん羽根の巻き付き防止のため）

② ふたを開ける

① 「ふたロックつまみ」を矢印方向に解除する。
② 「フック」を押す。（ふたが半開きします。）
③ 手を添えながら、ふたを最後まで開ける。



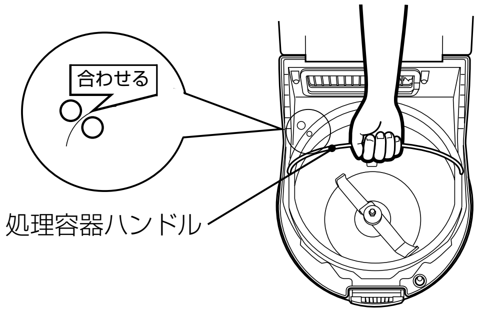
※ふたは確実に止まるまで開けてください。無理に開けたり、力を加えたりはしないでください。
（途中で止めておくと、ふたが自重で急に閉じることがあります。）

※強い風のときはふたが急激に閉まることがありますのでご注意ください。

※処理後続けて使用する場合は、本体内部が高温になっているのでやけどに注意してください。

※生ごみを投入するとき、「生ごみ投入量目盛り線」を越える場合は処理容器内のごみを取り出してください。（ ☞ 11ページ）

※内ふたにごみが付着しているときは必ず取りのぞいてください。（ ☞ 15ページ）



③ 処理容器のセットを確認する

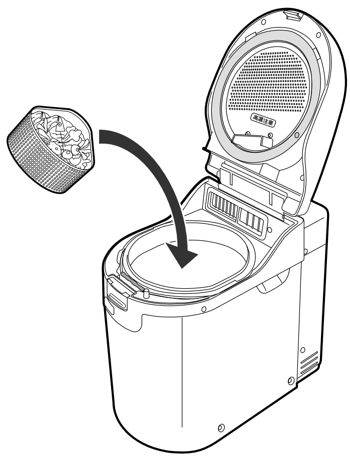
処理容器がセットされていないときは、セットします。

① 処理容器の○印と本体の○印を合わせてセットします。

※処理容器をセットしないで生ごみを直接入れると故障の原因になります。

② 処理容器ハンドルを手前に倒す。（フック側）

● 生ごみが出たらそのたびに投入できます。（処理は1日に1回が目安です）



④ 生ごみを入れる（☞8ページ）

●水切りした生ごみを処理容器に入れる。

※「生ごみ投入量目盛り線」以上に生ごみを入れたり、生ごみを押し込んで「生ごみ投入量目盛り線」以下にしないでください。（☞11ページ）

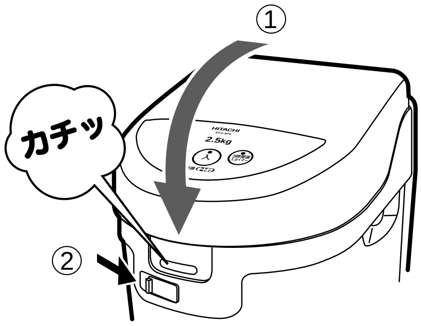
5 ふたを閉める

①「カチッ」と音がするまでゆっくり閉める。

※処理容器や内ふたが確実にセットされていないと、ふたが閉まりません。

②「ふたロックつまみ」を矢印方向に押し、ロックする。

※ふたロックつまみをロック側にした状態でふたを閉めないでください。(故障の原因になります。)



⚠注意

乾燥処理後続けて使用する場合は、本体内部の高温部に触れない。
(やけどの恐れ)

お願い

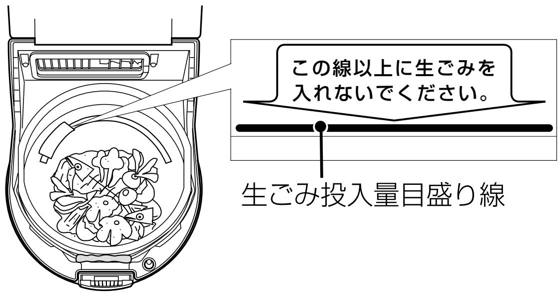
●ふたは勢いよく閉めないでください

生ごみの投入量は必ずお守りください

●処理容器内の「生ごみ投入量目盛り線」以上に入れないでください。

●連続して処理するときも「生ごみ投入量目盛り線」以上に入れないでください。

●粉類、水分を多く含んでいるみそやぬか床などのような粘性物や固形物を他の生ごみといっしょに処理する場合は、「生ごみ投入量目盛り線」まで入れないでください。処理容器の約半分で処理してください。



※生ごみを押し込んで「生ごみ投入量目盛り線」以下にしないでください。無理に押し込むと、内ふたの穴がつまり乾燥不足になることがあります。また、においの発生や故障の原因になります。

同じ種類の生ごみを続けて処理する場合

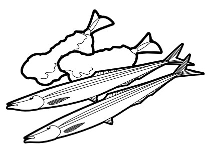
処理不足の状態になったり、処理中においがする場合がありますが故障ではありません。

野菜・果物などの水分量が多い



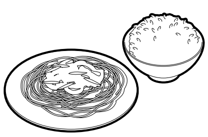
サラサラの乾燥状態にならない

魚・天ぷら等(油分が多いもの)が多い



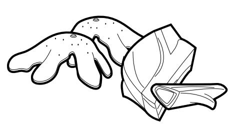
乾燥しない油分が残り液状になる

麺類・ご飯類(澱粉類)が多い



ダンゴ状に固まるまたはこびりつく

みかんの皮・キャベツの芯等



細かくならないにおいがする

→ その上から家庭の生ごみ(いろいろな種類の混ざった生ごみ)を継続して追加・処理すると、乾燥状態も粉砕度も除々に良くなります。

生ごみの処理

通常処理

●1日1回が目安です。

1回の処理時間の目安は700gで約1時間45分、2.5kgで約6時間です。(ごみの種類や状態により変動します。)

① 電源スイッチ「入」を約1秒以上押す



■運転ランプが点灯し、タイマーランプが点滅します。

運転中は次の動作を行います。

①5秒後にタイマーランプが消灯し、かくはん羽根が約10秒間間欠回転します。



②約2分後にファンが回転します。

③約30分後、かくはん羽根が間欠運転します。

↓ この状態で処理が続きます。

④処理が終了すると運転ランプが点滅し冷却中になります。



⑤約10分間冷却後自動的に運転ランプが消え、停止します。



※処理を途中で停止させるときは、電源スイッチ「切」を押します。

※電源スイッチ「切」を押した後や冷却終了後に本体内部センサー冷却のため、ファンが約1分間回転します。

タイマー処理 (3時間後入タイマーモード)

●3時間後に処理を開始します。

寝ている間や深夜電力を使いたい場合に有効です。生ごみの量によっては朝になっても運転している場合があります。

① 電源スイッチ「入」を約1秒以上押す

■運転ランプが点灯し、タイマーランプが点滅します。



② 3時間後入タイマースイッチを押す

■タイマーランプが点滅している間(約5秒間)に押します。



＊押さないとそのまま通常処理を行います。点滅中に押せなかった場合は、一度電源スイッチ「切」を押してから再セットしてください

タイマー処理中は次の動作を行います。

①タイマーランプが点灯に切り替わり、タイマー待ち状態になります。



↓ 3時間後

②タイマーランプが消灯します。

③その後の動作は通常の処理と同じ動作になります。

●タイマー処理中(3時間)にふたを開けますと最初からやり直しになります。

再度設定する場合はふたを閉めて電源スイッチ「入」を押し、3時間後入タイマースイッチを押してください。(この場合押し直したときから3時間後のスタートとなります。)

生ごみ処理中のお願い

●運転中はふたを開けないでください。

内部が高温のためやけどの恐れがあります。また、ふたを開けると自動的に電源スイッチが切れて運転が停止します。

●室内使用時、乾燥のために発生する湿気・熱気・においが気になる場合は、換気をしながらお使いください。

上手な使いかた

●生ごみはよく水切りして処理すると、処理時間が短縮できます。

大きな生ごみは細かく切ると処理時間の短縮、電気代の節約になります。

●毎食後の残飯・残菜(少量の生ごみ)を、その都度処理するよりも、一日分を夜にまとめて処理するほうが時間短縮に効果的です。

●冷却工程に入ると運転ランプが点滅します。

約700gの生ごみ(標準生ごみ)の場合は、約1時間45分で乾燥が終りますが、最後の約10分間は冷却処理します。冷却時間に入ると運転ランプが点滅します。就寝前・お出かけ前など、気になるかたは、冷却中に入っていれば電源を切っていただいてもかまいません。このとき運転ランプが点滅中に電源を切り、強制的に処理を終わらせることができますが、約1時間ふたを開けないでください。
(内部が高温のためやけどの恐れがあります。)

生ごみの量と処理時間の目安

●処理時間の目安は、生ごみ(標準生ごみ)の量が約700gのとき約1時間45分、約2.5kgのとき約6時間です。

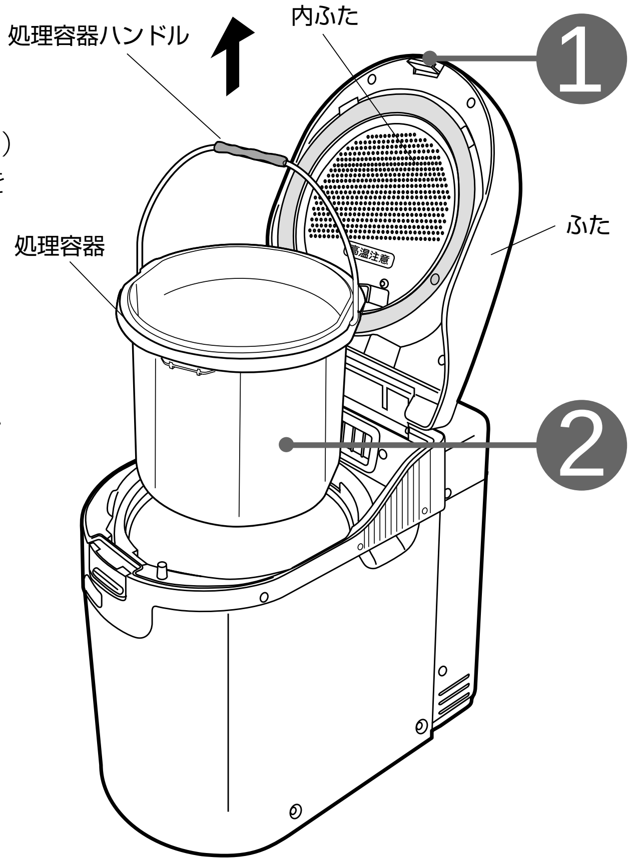
生ごみの種類・量・水分量・温度、使用される周囲温度・電源電圧等の環境によって処理時間が約2倍程度かかることがあります。ただし、特に水分量が多い生ごみの場合には、乾燥が不十分でも最長約8時間で停止するようになっています。

処理したごみ（乾燥処理物）の取り出し

●2週間に１回が目安です。（1日に標準生ごみ約700ｇを処理した場合）

※2週間に1回が目安ですが処理容器の約半分位までたまったらごみを取り出してください。
処理したごみが処理容器の半分以上になると内ふたにごみがつまり、振動音やにおいの原因となることがあります。

※生ごみを追加投入するとき、「生ごみ投入量目盛り線」を超える場合は、追加投入前に処理したごみを取り出してください。



1 ふたを開ける

運転ランプの消灯を確認してから

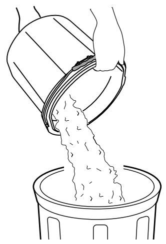
- ●ふたは静かに開けてください。（付着した乾燥処理物が飛び散ることがあります。）

※内ふたにごみが付着している場合は、必ずごみを取りのぞいてください 。（☞ 15ページ）

2 処理容器を取り出す

- ●運転終了直後は、処理容器ハンドルが熱くなっています。冷えてから取り出してください。
- ●内ふたに当たらないように、ゆっくりと持ち上げてください。

3 ごみを捨てる



- ●乾燥処理物が冷えてから捨ててください。
- ●一般可燃ごみと一緒に捨てられます。また、園芸などの乾燥･有機肥料素材として再利用できます。（☞ 18ページ）
- ●処理容器を落としたり、たたいたり、衝撃を加えたりしないでください。（破損の原因となります。）

4 再び処理容器をセットする

（☞ 10ページ）

- ●処理容器と本体の○印の位置を合わせてセットし、ハンドルを手前に倒してふたを閉めてください。（処理容器ハンドルが変形することがあります。）

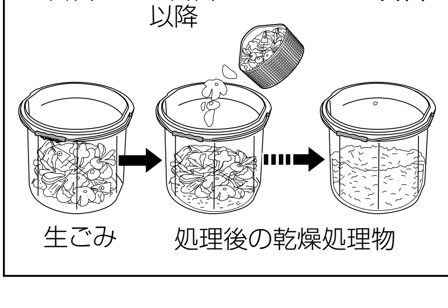
⚠注意

本体内部の処理容器などが冷えてからごみを取り出します。

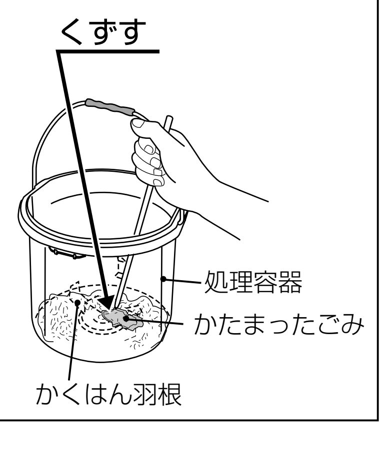
（やけどの恐れ）

上手な使いかた(ごみ出し回数を減らすために)

乾燥処理物の上に追加投入し、続けて処理できます



- ●1日約700gの生ごみの量であれば、約14日間ごみを捨てなくても　連続して処理できます。（標準試験生ごみ約700gの場合）
- ●乾燥処理物がかくはん羽根の周囲にかたまった場合は、くずしてから、その上に生ごみを投入して処理します。
- ●乾燥処理物が処理容器に約半分位になったら捨ててください。



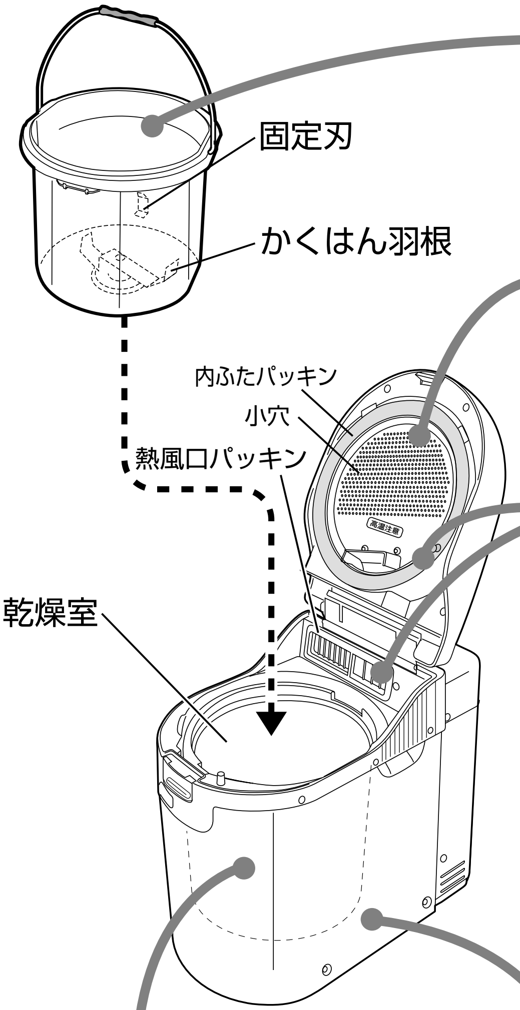
各部のお手入れ

❶ 生ごみを入れるときのお手入れ(毎回)

生ごみを入れるときは内ふた、内ふたパッキンや熱風口パッキンにごみが付着していないか調べて必ず取りのぞいてください。特に「内ふた」の小穴がごみでふさがれていると、においや乾燥効率の低下の原因となります。16ページに従ってお手入れしてください。乾燥処理物が処理容器およびかくはん羽根に付着していても運転には支障ありません。そのままご使用ください。内ふたパッキンと処理容器の接触する面、および熱風口パッキンと内ふたの接触する面のごみは必ず取りのぞいてください。ごみが付着しているとにおいもれの原因になります。

⚠ 警告	**お手入れの際は差込プラグを抜く**(感電やけがの恐れ)
⚠ 注意	**お手入れは本体上面および本体内部の処理容器等が冷めてから行う**(やけどの恐れ)

❷ 乾燥処理物を捨てたあとのお手入れ(2週間に1回が目安です)



処理容器

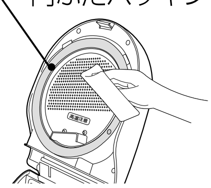
●処理容器を湯または水に浸した後、スポンジで洗ってください。こびりつきやすくなりますので、洗剤は使用しないでください。

内ふた

●16ページに従ってお手入れしてください。

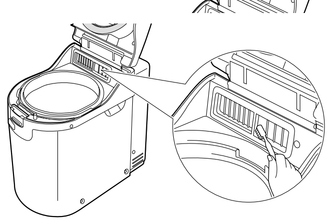
内ふたパッキン・熱風口パッキン

●濡らして軽くしぼった布などで清掃してください。また、内ふたパッキンに付着したごみは取り除いてください。(パッキンの変形やにおい発生の原因になります。)



●熱風吹出口や熱風吸込口付近に付着したごみはお手持ちの歯ブラシなどで処理容器側へかき出してください。

●ごみが熱風吹出口、熱風吸込口の中に入らないように注意してください。



乾燥室

●水をかけたり、水洗いしないでください。(故障の原因になります。)

外 側

●本体や操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。

●汚れがひどいときは、水で薄めた台所用中性洗剤に浸した布をかたくしぼってふき取ってください。

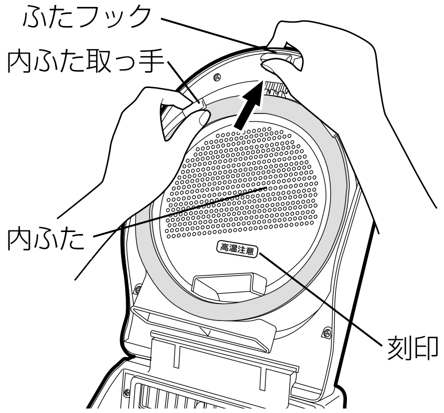
(お手入れには、シンナーやベンジン、みがき粉などは使用しないでください。)

内ふたのお手入れ（2週間に1回が目安です。）

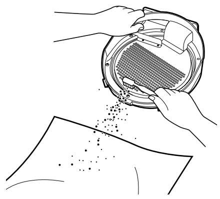
処理する生ごみによっては、内ふた内部にごみが付着することもあります。
長く快適にお使いいただくために、点検・お手入れをしてください。
＊内ふたを取り付けたまま、水洗いや水をかけないでください。(故障の原因になります。)

1 内ふたを取り外す

① ふたを開いた状態で「内ふた取っ手」を手で押えながら「ふたフック」を押し上げます。
② 内ふたがはずれますので、両手で持ち上げはずします。
※必ず内ふたを押さえてください。

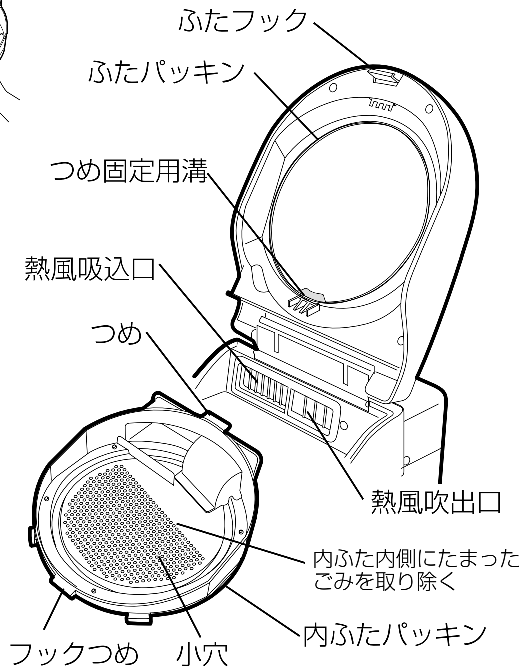


2 お手入れをする



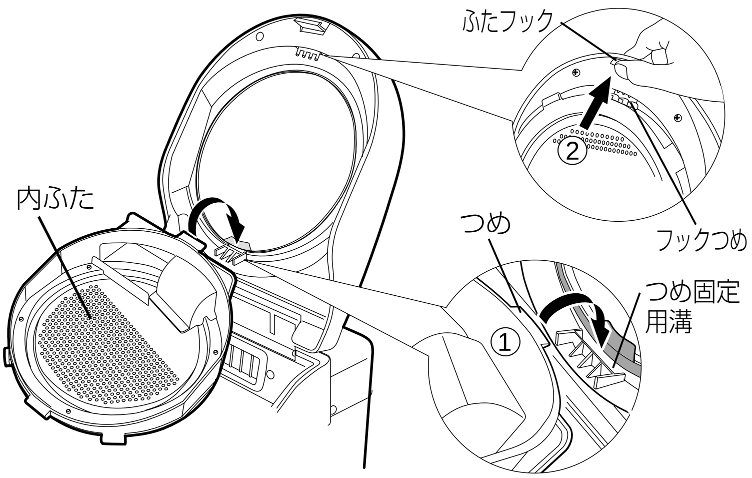
- 内ふたの内側に付着したごみや、特に内ふたの小穴のごみをお手持ちの歯ブラシなどでかき落としてください。内ふたパッキンに付着したごみもきれいに取り除いてください。
  水洗いした場合は、よく乾かしてください。
- 熱風吹出口、熱風吸込口に付着したごみも同様に歯ブラシなどでかき出してください。
- ふたの内側は、濡らして固くしぼった布などで清掃してください。また、ふたパッキンに付着したごみは取り除いてください。（においの発生原因となります）
- ごみを熱風吹出口や熱風吸込口の中に押し込まないでください。(故障の原因になります。)

  （金属などの固いものは傷がつく恐れがありますので使用しないでください。）
- 内ふたを落としたり、たたいたり、ぶつけたりしないでください。破損してにおいがもれることがあります。



3 内ふたを取り付ける

①「高温注意」の刻印面を手前にし、「つめ」を「つめ固定用溝」に差し込みます。ふたパッキンがめくれないように注意してください。（においもれの原因）
②「ふたフック」を押し上げて、内ふたの「フックつめ」に「ふたフック」をかけてください。



故障かな ･････ と思ったら

次のことをお調べください

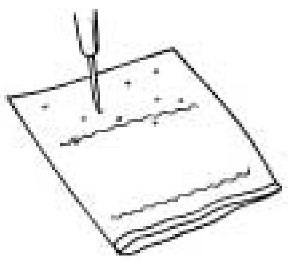
こんなときは	調べるところ	直しかた
電源スイッチを押しても作動しない	●差込プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●ふたが確実に閉まっていますか。	●差込プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ●「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。（☞11ページ）
乾燥処理されていない	●運転ランプの点灯中やタイマーランプ点灯中に、ふたを開けませんでしたか。 ●運転ランプの点灯中やタイマーランプの点灯中に、差込プラグが抜けたり停電しませんでしたか。	●運転中やタイマー運転中はふたを開けないでください。ふたを開けると電源が自動的に切れます。再度ふたを閉め、電源スイッチ「入」を押すと、運転が最初からスタートします。 ●運転中やタイマー運転中に電源が切れますと停止状態になります。電源スイッチ「入」を押して最初からスタートしてください
処理時間が長くかかる	●水分量の多い生ごみ類を多く入れていませんか。 ●生ごみが多量に入っていたり、詰めすぎたりしていませんか。 ●内ふた内に乾燥処理物の細片が入って、内ふたの穴がつまっていませんか。また熱風吹出し口や熱風吸込口がごみでつまっていませんか。 ●少量の生ごみを処理していませんか。	●水分の多い場合は、乾燥に時間がかかります。そのまま処理を続けてください。 ●処理容器の「生ごみ投入量目盛り線」までに減らしてから、再度処理を行ってください。（☞ 11ページ） ●内ふたと本体内部をお手入れしてください。（☞15・16ページ） ●他の生ごみと一緒に処理してください。少量の生ごみの場合はその都度処理するよりも、一日分をまとめて処理するほうが時間短縮に効果的です。（☞11ページ）
十分に乾燥されていない	●排気口をふさいでいませんか。 ●熱風吹出口や熱風吸込口が目づまりしていませんか。 ●ごみの種類がかたよっていませんか。（でんぷん類・果物類など） ●内ふた表面に生ごみや異物が多量に付着していたり、穴がつまっていませんか。 ●多量のごみを処理していませんか。	●障害物を取り除いてください。（☞ 6ページ） ●ごみを取り除いてください。（☞15ページ） ●乾燥不足になる場合がありますが、その上に続けて生ごみを投入して処理してください。（☞ 11ページ） ●ごみを取り除いてください。（☞16ページ） ●ごみの量が多いとヒーターの過熱を防止するため処理が早く終了することがあります。そのまま処理を続けてください。
運転中にランプが点滅してしまう ○ 運転ランプ ☀ タイマーランプ	●製品の周囲温度が高くなっています。屋外使用時直射日光のあたる場所に据え付けていませんか。 ●本体周囲を囲ったり、ふさいでいませんか。	●直射日光のあたらない場所に移してください。 ●囲いまたはふさいでいる物を取り除いてください。
☀ 運転ランプ ☀ タイマーランプ 交互点滅	●水分量の多い生ごみを入れたため約8時間後に処理停止しました。	●再度スイッチを入れるか、水分量の多い生ごみを取り除いてください。
☀ 運転ランプ ☀ タイマーランプ 同時点滅	●アルコール系のごみ、腐敗ごみ、発酵系のごみを入れませんでしたか	●処理容器内の処理物を取り除いてください。

こんなときは	調べるところ	直しかた
ラジオ、コードレス電話などに雑音が入る	●ラジオまたはコードレス電話を本体の近くに置いていませんか。	●ラジオまたはコードレス電話を本体から50cm以上離すか、向きを変えてください。受信感度が弱い場合にはさらに雑音が小さくなるまで離してください。
運転中大きな音がする	●硬い貝殻や骨が入っていませんか。 ●大きな乾燥物や硬い物が入っていませんか	●大きな乾燥物や硬いものを取り除いてください。
処理中に強いにおいがする	●熱風吹出口、熱風吸込口や内ふたの小穴が目づまりしていませんか。 ●内ふたパッキン部および、処理容器上面にごみが付着していませんか。 ●ふたパッキン部にごみが付着していませんか ●内ふたがきちんと取りつけてありますか ●熱風口パッキンにごみが付着していませんか ●ごみの種類がかたよっていませんか。 ●処理容器内に処理したごみが一杯になっていませんか ●腐ったごみを処理していませんか。	●ごみを取り除いてください。（☞15ページ） ●ごみを取り除き、清掃してください。（☞15ページ） ●ごみを取り除き、清掃してください。（☞16ページ） ●内ふたの取り付け方法（☞16ページ）にしたがって取り付けてください。 ●ごみを取り除き、清掃してください。（☞15ページ） ●他の生ごみと一緒に処理してください。（☞11ページ） ●処理したごみを取り出してから処理してください。（☞14ページ） ●生ごみは腐敗しないよう早めに処理してください。

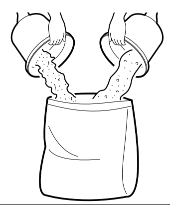
乾燥処理物の活用

完熟堆肥にして園芸に活用する方法

① ポリ袋（米袋など）を用意し、下側に穴をあけます。（20ヶ所程度）



② その中に乾燥処理物と腐葉土を入れ、よく混ぜます。

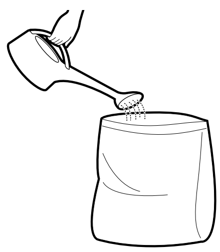


体積の割合

乾燥処理物		腐葉土
8L	：	10L

（例）4人家族の１ヶ月分（約8L）を堆肥にした場合

③ その上から湿らす程度に、じょうろで散水します。



④ 袋を締め、月日を記入し、日陰で保管します。



（堆肥が完熟になる目安は、夏場で約1ヶ月
冬場で約3ヶ月）

●完熟堆肥は直接、植物の根に触れないように埋めてください。

仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50-60Hz
定格消費電力	850W
電源コード	約2.0m
最大処理量	約2.5kg/回
外形寸法	幅26.5cm×奥行44.8cm×高さ50.4cm（ふたを開けたときの高さ81cm）
質量（重量）	約13kg
付属品	アース線(1本)

●長時間ご使用にならないときは、差込プラグをコンセントから抜いてください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
● 保証期間は、お買い上げの日から1年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または、お近くの日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表(裏表紙)の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは 出張修理

17・18ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず差込プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

■連絡していただきたい内容

品名	日立家庭用乾燥式生ごみ処理機
形名	ECO−B25
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご住所	（付近の目印等も併せてお知らせください）
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※銘板は本体左側面にあります。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この乾燥式生ごみ処理機の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
● ご転居されたり、移動したりした場合には、必ず販売店または電気工事店に依頼して、アースの取り付け直し（有料）を行ってからご使用ください。（4ページ参照）

修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120－3121－68	TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－87	FAX 0120－3121－34

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	０１１－８３３－５０８８	札幌市白石区東札幌２条４－１－１０
東北地区	０２２－２３２－５０８８	仙台市宮城野区扇町１－１－４５
関東・甲信越地区	０３－３８３４－８５８８	台東区東上野２－７－５（日立家電上野ビル）
中部地区	０５２－７９５－５０８８	名古屋市守山区新守町５９（日立家電新守山ビル）
関西地区	０７８－４３１－５０８８	神戸市東灘区甲南町１－３－８
中国地区	０８２－２３１－５０８８	広島市西区観音新町１－７－１７
四国地区	０８７７－４７－１０８８	坂出市林田町４２８５－１４３
九州・沖縄地区	０９２－２８１－５０８８	福岡市博多区店屋町７－１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

－03A－

愛情点検

● 長年ご使用の家庭用乾燥式生ごみ処理機の点検を！

● 家庭用乾燥式生ごみ処理機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。

ご使用の際このようなことはありませんか		お願い	
	●電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。 ●電源スイッチを押しても動作しない。 ●自動的に切れないときがある。 ●運転中に異常な音が出る。 ●さわるとビリビリと電気を感じることがある。 ●その他ふたの破損などの異常や故障がある。		故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

日立ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2丁目15番12号　電話(03)3502-2111

NH214894－01　2003-04（DC・M）4